



日本銀行や東京駅を設計した辰野金吾。日本初のオフィスビル建築を手がけた曾禰達蔵。近代建築の生みの親は、佐賀県出身の人だったのです。

調べてみよう

二人の作品にはどんな特徴があるんだろう？



東京駅 [東京都千代田区] 辰野金吾/1914年(大正3)年/国重要文化財
「辰野式」建築の代表作。東京大空襲で建物は大きく損壊しましたが、2012(平成24)年に

(川副義教氏提供)

日本の建築界の礎を築いた辰野金吾

西洋建築を学んだ最初の日本人建築家はわずか4人で、そのうちの二人は、唐津の出身です。一人は辰野金吾、もう一人は曾禰達蔵です。二人は持ち前の実直さと勤勉さで、建築家及び教育者として大きな足跡を残し、近代日本の建築界の礎を築きました。

創建当時の姿に復元されました。

1854(嘉永7)年、辰野は、唐津藩の武士の家に生まれました。辰野は、唐津藩が設立した英語学校耐恒寮(現在の唐津市大名小路にあった)に赴任した高橋是清(のちの総理大臣)に英語を学びます。1873(明治6)年に東京に新設された工部省工学寮(のちに工部大学校、東京大学工学部の前身)に入学し、鹿鳴館※1の設計者であるイギリス人建築家ジョサイア・コンドルから建築学を学びました。

※1 明治政府が外国の外交官を接待するために建てた社交場。



(唐津市教育委員会提供)

辰野 金吾

1854(嘉永7)年～1919(大正8)年



(唐津市教育委員会提供)

曾禰 達蔵

1852(嘉永5)年～1937(昭和12)年



日本銀行本店 [東京都中央区] (フリー素材)
辰野金吾/1896(明治29)年/国重要文化財

辰野の作品の中で現存する最も古い作品。日本初の本格的石造建築です。



旧唐津銀行 [佐賀県唐津市] (佐賀県観光連盟提供)

辰野金吾/1912(明治45)年/国重要文化財
設計を辰野の門下生が、監修を辰野が行った作品です。



武雄温泉楼門・新館 [佐賀県武雄市] (武雄温泉株式会社提供)
辰野金吾/1915(大正4)年/国重要文化財

辰野が設計した数少ない和風建築の一つ。新館には古い温泉の資料などが展示されています。

工部大学校を優秀な成績で卒業した辰野は、1879(明治12)年にヨーロッパ留学を命ぜられ、イギリスの著名建築家**ウィリアム・パージェス**に学びました。また1年をかけてフランス・イタリアを旅して、西洋建築の見識を深めました。

帰国後の辰野は工部大学校の教授に就任し、建築家や技術者の育成に励みます。辰野の門下からは多くの建築家が育ちました。同時に、**造家学会**(建築学会の前身)の設立や、画家・彫刻家との積極的な交流など、日本に西洋建築を根付かせるための活動も活発に行いました。

県内外に残る「辰野式」建築

辰野は建築家としても多数の作品を残しています。**日本銀行本店**、**東京駅**など、日本を代表する記念碑的な作品があります。佐賀県内にも**旧唐津銀行**や、和風建築の**武雄温泉楼門・新館**の設計監修を行っています。

その他、旧日本生命保険会社九州支店(現在の福岡市赤煉瓦文化館)も手がけました。

辰野の建築作品は、赤煉瓦に白色の石を帯状に配し、塔やドームが賑やかに屋上を飾る外観で知られ、「**辰野式**」と呼ばれています。高さに対して幅が広いと、安定感があるとともに、堅実で細部まで辰野らしい工夫が見られます。

東京丸の内オフィスビルを手がけた曾禰達蔵

曾禰は、辰野と工部大学校の同級生であり、終生の友人でもありました。曾禰は、唐津藩主小笠原家からの信頼が篤かった武士の家に生まれました。戊辰戦争に幕府方につき参戦した経験から、時流に動じなかった一面をっていました。国家を飾る建築家よりも「歴史家」になりたかったと語っていたそうです。

維新後に唐津に戻った曾禰は、辰野より先に耐恒寮に入り、高橋是清に師事しました。高橋が東京へ移った後を追って、1873(明治6)年に新設された工部省工学寮に第1期生として入学し、建築学を学びます。

卒業後は、師であるジョサイア・コンドルの下で活動を行いました。まず、工部大学校の助教授としてコンドルを補佐しました。その後、海軍省勤務を経て、1890(明治23)年、三菱社に入社し、東京丸の内に多くの**オフィスビル**を設計していきました。

定年退職後の1908(明治41)年に、後輩の**中條精一郎**とともに**曾禰・中條建築事務所**を開設し、主に民間の事務所建築などにその能力を発揮しました。



福岡市赤煉瓦文化館 [福岡県福岡市] (株式会社提供)
辰野金吾/1909(明治42)年/国重要文化財
赤煉瓦に花崗岩の白い石、ドーム状の外観など、「辰野式」の特徴が顕著に見られる建物です。



(神戸市まちのデザイン課提供)

旧三菱銀行神戸支店 [兵庫県神戸市]
 曾禰達蔵／1900(明治33)年／神戸市景観形成重要建築物
 曾禰の作品の中で現存する最も古い作品でしたが、2016(平成28)年に外観など一部を残しての解体工事が決定しました。



(慶應義塾提供)

慶應義塾図書館旧館 [東京都港区]
 曾禰達蔵／1912(明治45)年／国重要文化財
 慶應義塾創立50周年を記念して建てられた図書館。



(三菱重工業株式会社提供) (非公開施設)

占勝閣 [長崎県長崎市] 曾禰達蔵／1904(明治37)年／世界遺産
 「明治日本の産業革命遺産」の構成要素として2015(平成27)年に世界遺産に登録されました。



(佐賀県観光連盟提供)

旧三菱合資会社唐津支店本館 [佐賀県唐津市]
 丸の内建築事務所／1908(明治41)年／佐賀県重要文化財
 曾禰が設計に関与したと言われている建築物です。唐津炭田の石炭を唐津港から積み出すための拠点の建物でした。

邸宅や都市内にふさわしい 品格のある曾禰の建築

曾禰の代表作には、**旧三菱銀行**
けいおうぎじやくとしよかんきゆうかん
神戸支店、慶應義塾図書館旧館、
 九州では三菱造船所迎賓館とし
 て長崎市に建てられた**占勝閣**が

あります。佐賀県内では、**旧三菱合資会社唐津支店本館**の設計に関与したと言われています。

曾禰の作風は、同世代の建築家が好んだ左右対称性や様式のルールを重んじる古典主義様式とは異なりました。左右対称を崩し、角に塔を設けて強調するなど、邸宅や都市にふさわしい外観を好むものでした。

優美かつ上品なその作風からは、曾禰の温厚実直な人柄とその教養の高さが偲ばれます。

学校の取組

【唐津の文化継承活動】

佐賀県立唐津工業高等学校
 建築科

唐津工業高校では先人が関わった建造物の模型を製作しています。



調べて書いてみよう!

県内外にある辰野と曾禰の作品を調べて書いてみましょう。



出かけてみよう!



旧三菱合資会社唐津支店本館 (唐津市海岸通)
 三菱商事から唐津市に寄贈され、1979(昭和54)年からしばらくは唐津市歴史民俗資料館として使用されていました。
 TEL 0955-53-7129(唐津市文化振興課) ※2017(平成29)年現在、休館中です。
 (佐賀県文化財課提供)



旧唐津銀行 (唐津市本町 1513-15)
 今では多目的ホールとして一般に広く利用されています。市民ギャラリーや音楽演奏会、公開講座などの文化イベントが不定期で開催されています。
 TEL 0955-70-1717 / 休館日 12月29日～12月31日 / 開館 9:00～18:00
 (佐賀県観光連盟提供)

検索してみよう!

丸の内オフィス街

曾禰達蔵

辰野式

